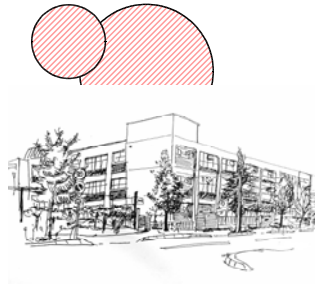


明星中学校だより 知と和と粘り



〒 070-0025 旭川市東5条1丁目

Tel 0166-26-0468

Fax 26-0469

E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成24年7月25日

◇第11号◇

陸上部につづき卓球・水泳 全道大会へ

勝利と惜敗の感涙が交錯する5日間でした。今年もまた、中学生の全力投球から生まれる清々しいドラマを観ることができました。旭川市中連夏季大会(7/3~6)と上川管内中体連大会(7/11~12)に、あわせて8競技に参加した本校生徒の戦績は下記のとおり。3年生を中心にこれまで鍛えてきた力を存分に発揮し、有終の美を飾ることができました。

特に野球では、4年ぶりとなる全校応援にスタルヒン球場が沸きました。少ない練習時間にも関わらず吹奏楽部の軽快で創意工夫ある応援演奏は、見事でした。また、その演奏にあわせ、声を枯らして選

手名を連呼し拍手する様子に、全校が一つになった一体感を感じました。残念ながら中連決勝戦では負けましたが、全校で相手校を讃えるエールも打合せなしでできました。普段の力だと思いました。当たり前前のことが当たり前前にできることを「凡事徹底」というそうですが、その真価が、このような場面で見事に発揮されたと感じました。

上代に出場し、全道大会への出場権を手中にしたのは卓球部の大石倅生君(3の1)、そして全道出場の標準記録を突破した大坪来君(3の1)の2名です。すでに陸上部で全道出場を決めている

3名とともに今後の健闘を祈ります。

この大会の終了をもって、ほとんどの3年生は部活動に区切りをつけなければならないわけですが、ケガを克服して出場を勝ち取った人がいる反面、直前になってケガに見舞われた人もいます。必ずしも、全員が満足したとは思えないかもしれませんが、今年の夏が皆さんのゴールでは決してありません。「…これからは、明星中学校の部活動で学んだことを生かせるよう頑張っていきます。」とは、報告会で語ったバスケット部の工藤裕基君です。

奥深い彼の言葉が、すべてです。

旭川市中連夏季大会結果概要

(Tはトーナメント、Sはシングルの意)

- ◆サッカー
1回戦 VS 啓北中 0-2 敗退
- ◆野球
2回戦 VS 永山中 2-1 勝
準々決勝 VS 光陽中 5-1 勝
準決勝 VS 神楽中 3-1 勝
決勝戦 VS 北門中 0-3 準優勝
- ◆テニス
団体戦予選リーグ 1勝2敗で決勝T進出ならず
個人戦 奥山・橋本組 準々決勝進出ベスト8
- ◆バドミントン
女子団体戦1回戦 VS 春光台中 0-3 敗退
男子団体戦1回戦 VS 北門中 0-3 敗退
女子個人戦S 小室(3年) ベスト16
男子個人戦S 木村(3年) ベスト16
- ◆バスケット
1回戦 VS 東光中 73-27 勝
2回戦 VS 愛宕中 35-69 敗退
- ◆卓球
団体戦予選リーグ 0勝2敗で決勝T進出ならず
個人戦T 大石(3年) 準決勝進出第3位
- ◆バレー
予選T VS 附属中 2-1 勝
決勝T1回戦 VS 永南中 0-2 敗退
- ◆柔道
個人戦男子60kg級 村井(2年) 第3位

中体連上川管内代表決定戦結果概要

- ◆野球
1回戦 VS 上富良野中 0-3 敗退
- ◆バドミントン
女子個人戦S 小室(3年) 1回戦 VS 士別中 1-2 敗退
男子個人戦S 木村(3年) 1回戦 VS 東明中 0-2 敗退
- ◆卓球
個人戦予選リーグ 大石(3年)
5戦全勝で決勝T進出=全道大会出場決定
個人戦決勝T 大石 1回戦 VS 春光台中 3-2 敗退
- ◆テニス
個人戦 奥山・橋本組 1回戦 VS 士別朝日中 1-4 敗退
- ◆柔道
個人戦男子60kg級 村井(2年) 1回戦 VS 名寄東中 敗退
個人戦男子90kg超級 黒川(2年) 決勝 VS 名寄東中 準優勝
個人戦女子70kg級 西岡(2年) 決勝 VS 名寄東中 準優勝

◇全道卓球

大石 倅生君 (3の1)

男子個人戦
8/3~5 稚内市

◇全道水泳

大坪 来君 (3の1)

男子個人メドレー400m・
バタフライ100m
7/27~29 札幌市

必勝おはしを選手に



『試合の朝、使ってください』と、壮行会の場面で、生徒会から全選手にプレゼントされました。紙どころか木の部分にも印字があり、これがまた、士気を高揚させる激励の文となっていました。(左の写真は、野球決勝戦での全校応援の様子です)

■発行責任者 校長 増茂 薫

■発行日 平成24年7月25日

◇第11号◇